

# 竹早塾

発表：竹早高校 父母と教師の会会長 根岸 幸子

## 竹早塾(土曜自習室)開設

平成14年度から「学校週5日制」が導入されることになり、土曜日の過ごし方・活用の方法について本校では1年かけて学校・同窓会と討議した結果、生徒が自主的に学習できる環境『土曜自習室』を開設することに致しました。土曜日という学校休日の活動のため「生徒への校内での安全面の配慮」「学校の規則厳守」などが条件となったものの、PTAの協力のもと『土曜自習室』がスタート致しました。

『土曜自習室』では生徒が自主的に学習するだけでなく、基本的な学習の手助けとして、また進学へのアドバイザーとして竹早高校卒業生のST(サポートティーチャー)を配置し、マンツーマンやグループでの質問・疑問解決に役立てるシステムを加えました。そして、学校・卒業生・PTAのより良い連携が回を重ねる毎に、生徒の利用状況の発展にもつながっていき、平成16年の5月より『土曜自習室』から『竹早塾』と改名し、更に充実した内容と安定した活動を目指し、ST・学校とのコミュニケーションを大切に活動しております。

## サポートティーチャー・学校・PTAの役割分担

### サポートティーチャー

実施内容の企画、実行  
問題プリントの作成・印刷  
当日の参加メンバーリスト作成  
使用教室の割り振り  
当日の作業全般



教科ごとの試験範囲や生徒が求めるニーズに合わせたプリント作成や講義内容を毎回考える。アンケート調査もあり。自分の大学生生活の合間に、時間を作って問題プリントを作成。これが生徒に大好評な内容と仕上がりになっています。毎回「実施計画表」を学校に提出する。

(使用教室のリスト・STのメンバーリストなど明記)  
自習室、質問室(理系・文系)、講義室(世界史・化学・英語など)企画に合わせて教室を決める。

朝8時30分に集合して打ち合わせをする。教室の看板などの掲示作業から始まり、朝と帰りの放送で生徒の誘導をしながら安全を確認する。9時から教室に入りそれぞれのポジションにつき12時まで教える。

開催日：年10回 \*行事予定表を見て、定期考査に合わせて開催日を決定

土曜日 午前9時～12時 入退室自由

### 学 校

授業内容、試験範囲の通知  
(各学年、各教科の先生よりご協力)  
ST募集に対するご協力  
学校施設の開放・管理

### P T A

『竹早塾』運営  
当日の受付(1.2年の保護者)  
教材等の購入、印刷作業補助  
開催案内文の発行・掲示  
STへの謝礼・交通費の支払



STの募集、STの指導、全体会(前期・後期)の開催。  
受付のお手伝いとして、4月の委員決めの時、1年生・2年の保護者(クラス2名づつ)に受けてもらう。受付を体験することで『竹早塾』や学校のように、PTA活動などを身近に感じてもらえる利点がある。

学校で使用する教科書を一式揃える。(STの事前準備用)  
開催日のお知らせ、参加の呼びかけ、報告などを生徒・保護者に向け発信。学校内の掲示板に『竹早塾』コーナーを設置し常時掲示する。

在校生にアンケート調査 対象者：1・2年生 回答数 396名（1年生 235人 2年生 161人）

『竹早塾』を利用したことはありますか？

・はい 68%（1年生 82% 2年生 47%）

どの科目を勉強しましたか？

数学 化学 世界史 英語 ほか

講義を受けたことがありますか？ その科目は・・・

・はい 64%（1年生 82% 2年生 17%） 世界史 化学

科目のプリントは役に立っていますか？ その科目は・・・

・はい 74%（1年生 75% 2年生 62%） 世界史 化学

講義の内容はどうか？

・わかる 73%（1年生 74% 2年生 69%）

サポートティーチャーは質問に対して回答のしかたが・・・

・わかりやすい 83%（1年生 86% 2年生 75%）

## サポートティーチャーにインタビュー

Q1 何名くらい参加していますか？

A1 毎回120~140名くらいです。多い時期には180名になることもあります。

1年生が100名以上で2年生になると半分に減り、3年生になると一ケタになってしまうのは、自分の勉強の仕方が定着してきて、自宅学習の習慣が身についたからだと思います。

Q2 どんな教室があるのですか？

A2 静かに自分の勉強をしたい生徒は「自習室」、STに質問したい生徒は「質問室」、同じような質問が多い教科に対しては、STが準備をして黒板やプリント等を使つての「勉強室」を開いています。特に人気の世界史や化学、今年は英語のリスニングも映画を教材にしてやる予定です。

Q3 STになって思うことは・・・

A3 「先生」ではなく「先輩」と呼ばれたい!! 友だち感覚でもっと気軽にどんどん質問・相談に来てもらいたい。僕達もちょっと前までは同じ竹早生だったのだから・・・今の自分にできることで少しでも後輩たちに何かを伝えることができたなら・・・と気づきました。

Q4 竹早生の印象は？ 自分たちの頃とは違いますか？

A4 皆明るく、真面目で、やる時はやる、一生懸命!!が変わっていないと思います。だからこそ先輩として、自分達の経験をもとに勉強のことばかりでなく、部活のことや大学の話などもサポートしてあげたいと思っています。

## 「竹早塾」のPR作戦

私は、昨年『竹早塾』という担当に付き、竹早生と直接関わり、卒業生(ST)たちと話し合いながら『竹早塾』がPTA活動としてこれから先継続していくにはどうしたら良いか・・・という方向性について考えました。そして次の企画を実行してみました。

**全校生徒の参画** 『竹早塾オリジナルキャラクター』を募集し、最優秀賞と優秀賞2名を選び、最優秀賞の作品は、1年間『竹早塾』のマスコットとして看板を飾る。最優秀賞者には賞状と図書券、また3人全員には副賞として、校内のパン屋さんで利用する「パン券」をつける。賞状もパン券も手作りです。

自分達の『竹早塾』だという意識付けにもなり、心を向けるきっかけになると良いと思います。

採用作品は、現実には利用の少ない3年生の作品で、『竹早塾』への参加方法はいろいろあります。

**開催日・講義企画の完全な伝達方法** 今まではプリントで生徒に配布していましたが、なかなか見てもらえない苦労がありました。そこで学校内の生徒昇降口のガラス・生徒用のホワイトボード・各階段にある掲示板などに『竹早塾』の専用告知スペースをいただき、年間を通してさまざまなお知らせを掲示したところ、それが生徒に定着していき、みんなに足を止めて読んでもらえるようになりました。

用紙の節約にもなり、PTAの関わる作業も大変楽になりました。

**竹早祭(文化祭)にコーナー参加** 昨年よりコーナーを頂き、在校生・中学生へのPRをしてきましたが、今年はSTが考案したクイズに答えた方に手作りの“オリジナルうちわ”をあげました。

無地のカラーうちわに看板シールを貼っただけなのに、好評で校内中よく目につき嬉しかったです。

次回は12月16日(金)の「全都会長会」発表を掲載させていただきます。